

第3回常任理事会報告

日 時 平成21年6月16日(火)午後3時30分~同5時30分
場 所 日本歯科医師会 801会議室
出席者 <会 長> 江藤一洋
<副 会 長> 住友雅人
<総務理事> 黒崎紀正
<常任理事> 川添堯彬、佐藤田鶴子、山崎芳昭、江里口 彰、
寺下正道、上西秀則、伊藤公一、後藤滋巳、
栗原英見、佐々木啓一
欠席者 <副 会 長> 井出吉信
<常任理事> 福田仁一、荒木孝二

[議長 黒崎総務理事]

1. 開 会

住友副会長より、開会の挨拶がなされた。

2. 挨 拶

江藤会長より、挨拶がなされた。

3. 報 告

1) 一般会務報告

黒崎総務理事より、次の資料に基づき、一般会務報告がなされた。

一般会務報告(平成21年5月11日~同6月15日)

第2回常任理事会報告(平成21年5月11日開催)

2) 国際歯科学研究学会日本部会 (JADR) 理事会報告

栗原常任理事より、標記について、2009 年度第 2 回 JADR 理事会日程に基づき報告。

また、国際学会でモデレーター等に就任する際、利益相反への対応を求められるようになっているため、本学会としても対応を検討していく必要があるのではないかと、同会への助成に対する本学会の考え方を報告した旨補足説明。

3) 会計現況報告

山崎常任理事より、平成 20 年度学会会計及び第 21 回日本歯科医学会学術大会会計収支決算の整理作業のため、本年度 5 月分の会計処理が滞っていることから、本常任理事会において同月分会計現況報告は行わない旨報告。

4) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

▶ 歯科診療ガイドラインについて

佐藤常任理事より、標記について、第 1 回歯科診療ガイドライン ライブラリー協議会 (5 月 26 日開催) では、互選により黒崎紀正氏を委員長に選出するとともに、今後のライブラリー運営について協議した旨資料に基づき報告。

現在、協議結果を受けて、同ライブラリーの運用概要を各分科会に通知するとともに、掲載を希望するガイドラインを調査中であること、本学会ホームページ内に、同ライブラリーに関するページを新設する予定であること等を追加報告。

住友副会長より、各分科会の代表者を集めた説明会の開催予定について質問があった。黒崎総務理事より、歯科診療ガイドラインに特化した説明会は予定しておらず、7 月 10 日 (金) 開催・第 1 回代表者会議内で説明したい、と回答。

佐々木常任理事より、学会ライブラリーに掲載されれば、確実に Minds へ掲載されるのか質問があった。佐藤常任理事より、ガイドラインの審査は、ライブラリー協議会の下に設置される「ライブラリー収載部会」内で、AGREE チェックリストに基づき実施されることになる。同部会は Minds 関係者も参

画している旨回答。

伊藤常任理事より、ガイドラインデータを掲載するにあたり、本学会、各分科会及び Minds ホームページの関係について質問があった。佐藤常任理事より、本学会ホームページ内に当該ガイドラインに関わる分科会及び Minds ホームページへのリンクを整える予定である旨回答。江里口常任理事より、日本歯科医学会を窓口にして、歯科診療ガイドラインに関する情報が集約されれば、会員の利便性は増すのではないかとの意見があった。

(2) 歯科医療技術革新の推進

▶医療ニーズの高い医療機器等に関する要望書の提出について

黒崎総務理事より、厚生労働省医政局経済課より、標記要望書の募集を受付する旨の情報提供があり、これを受けて各専門分科会及び認定分科会並びに日本歯科商工協会に対し意見を求めた結果、計 13 機器等の提案があり、これをもって厚生労働省に回答した旨資料に基づき報告。

(3) 学会機構改革の推進

特になし。

(4) 専門医制度の確立

特になし。

(5) 国際交流の推進

▶第 97 回 FDI 年次世界歯科大会総会において審議予定の FDI 政策声明(案)の検討について

江藤会長より、日歯より本学会に対し、標記声明(案)の検討要請があったことを受けて、各専門分科会に意見を求めている現状を資料に基づき報告。今後、分科会からの意見を基に日歯に回答する旨述べられた。

▶韓国歯科医学会との学術協定について

江藤会長より、韓国歯科医学会と学術協定を締結した旨資料に基づき報告。日韓で学術大会等を共催するなど、一層の連携を模索していきたいと補足された。

- 5) 歯科治療時の全身的偶発症アンケート調査の協力依頼について
黒崎総務理事より、日本歯科麻酔学会の要請を受け、日歯に対し、標記アンケート調査への協力依頼を行った旨資料に基づき報告。
- 6) 平成 22 年度科学技術分野の文部科学大臣表彰科学技術賞及び若手科学者賞受賞候補者の推薦について
黒崎総務理事より、標記について、資料に基づき報告。
- 7) 研究業績褒章（上原賞）候補者の推薦について
黒崎総務理事より、標記について、資料に基づき報告。
- 8) 会長報告
江藤会長より、日歯第 3 回理事会における報告事項及び協議事項について、資料に基づき報告。

4. 協 議

1) 重点計画の推進

(1) 歯科医療への学術的根拠の提供体制の構築

▶ワークショップの開催について

江藤会長より、歯科医療技術に関する学術的根拠の提供に資する討議を行うことで、各分科会間の“情報の共有”と“連携の強化”を図ることを目的に、ワークショップを開催することについて、資料に基づき諮られ、協議の結果、開催を了承。住友副会長と荒木常任理事の下で、運営方法等を引き続き検討していくこととした。

栗原常任理事より、本ワークショップ内で専門医制度の在り方について協議してみてもどうか、との意見があった。黒崎総務理事より、本ワークショップでは議題として取り上げる予定はない旨回答。

(2) 歯科医療技術革新の推進

特になし。

(3) 学会機構改革の推進

特になし。

(4) 専門医制度の確立

特になし。

(5) 国際交流の推進

特になし。

2) 事業計画の推進

(1) 第 82 回評議員会の開催について

黒崎総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り 7 月 24 日（金）午後 2 時より開催することを承認。

なお、日程内容については、次回常任理事会及び理事会で引き続き協議することとした。

(2) 平成 21 年度プロジェクト研究について

佐藤常任理事より、本年度プロジェクト研究テーマの選定について資料に基づき諮られた。

協議の結果、学会四役、学術研究担当役員及び同委員会正副委員長による学術研究事業打合せ内で選定作業を行うことを決定した。

佐々木常任理事より、地域歯科医師会からの提案内容は、臨床現場で今まさに求められている課題であると思われる。テーマの選定作業に際し十分考慮されたい、平成 19 年度採択研究は、その研究期間を終えて研究成果を総括するに至ったが、関係ガイドラインの策定に向けた追加支援を検討されたい、との要望があった。江藤会長より、予算的裏付けも含めて対応を検討していきたいと回答。

住友副会長より、本プロジェクト研究は 2 年の研究期間でエビデンスの蓄積を行い、診療報酬改定時に新技術導入の一助とすることを視野に入れている。会員に対し本研究成果を周知徹底することで、学会活動内容を伝えていく必要がある、と意見があった。佐藤常任理事より、各研究グループの報告書はアカデミックな内容となっはいるが、日本歯科医学会誌では読みや

すい内容で掲載予定であると回答。

江里口常任理事より、プロジェクト研究事業も 3 年目に入り、都道府県歯会からの提案テーマ数が増えてきた。今後、学術団体である学会が、臨床現場の要望に対応する形で、本研究事業が定着していくことが望ましい、との発言があった。

(3) 平成 21 年度専門分科会等助成金の配分について

黒崎総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、原案通り承認。

(4) 後援名義貸与について

黒崎総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、後援名義を貸与することを承認。

(5) 役員派遣について

黒崎総務理事より、標記について資料に基づき諮られ、協議の結果、役員を派遣することとし、派遣者を決定した。

3) その他

江藤会長より、新重点計画の策定について、資料に基づき説明があった。

上西常任理事より、歯科医学未来構想の構築に係る事業内容について質問があった。江藤会長より、我が国における歯科医学研究拠点のあり方、さらには人材育成における課題の抽出等を図った上で、米 NIDCR に相当する研究所の必要性について検討することが重要である旨回答。

5. 閉 会

住友副会長より、閉会の辞。